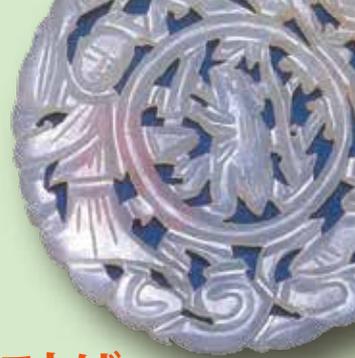
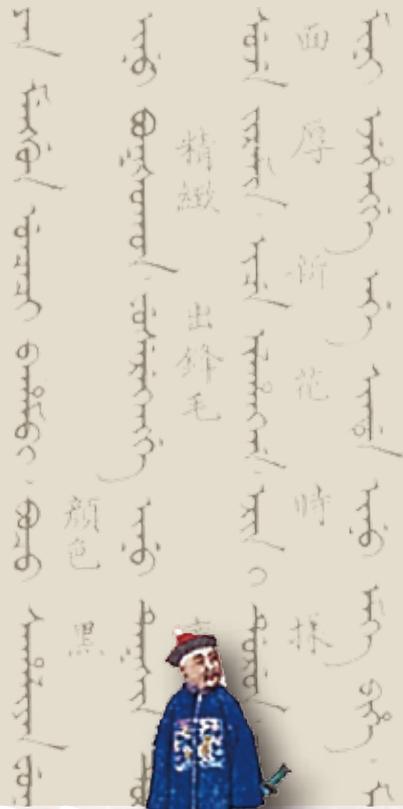


エリートたちの

東北アジア学術交流懇話会 平成27年公開講演会



講演 1

「満洲族の暮らしとことば」

落合守和 (おちあい もりかず)

首都大学東京 人文・社会系客員教授

講演 2

「清代北京城に暮らした

エリート

旗人たちの日常」

栗林 均 (くりばやし ひとし)

東北大学東北アジア研究センター教授



北京

～清代の日常風景～

時

所

は18世紀清朝の乾隆帝の時代、
大清帝国の支配層が居住する北京城で、
満洲族が自らの言葉を学ぶための
会話学習書が出版された。
対話形式の百篇の話題を集めた、
題して『一百条』。
そこには、当時の満洲族の日々の暮らしや
人間関係に関わる生き生きとした情景が描かれている。
講演会では、『一百条』のテキストを通して、
清朝の支配階層にいた満洲族の暮らしを見る。

2015. 5/22 (金) 15:00 ~ 17:00

会場：東北大学東京分室

聴講無料・要申込

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号サピアタワー10階

Tel. 03-3218-9612 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/bun/bun.html>



※聴講ご希望の方は、お名前・連絡先・勤務先を下記までお知らせ下さい。

Tel. 022-795-7580 または E-mail : gon@cneas.tohoku.ac.jp

(東北大学東北アジア研究センター内 東北アジア学術交流懇話会事務局)

申込締切 5/15 (金)

主催：東北アジア学術交流懇話会

共催：東北大学東北アジア研究センター